
ALFRED*Unknown

獅雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ALFRED*Unknown

【Nコード】

N6202Z

【作者名】

獅雨

【あらすじ】

突如あるサイトに書き込まれた人類危機の予言。それから8年後のクリスマス、ネット上で1000万人の友人を持つ大学生、神谷祀裏は通り魔の脅威に脅かされていた。その正体を知った祀裏は驚愕の事実を知る。テロ、ウイルス、黒組織。ネットを駆使した非科学的で非現実的な世界が平行線と境界線の狭間に今、垣間見え始めた。

0001. X'mas (前書き)

最初の説明が少し長いので、飛ばして読んでいただいても結構です。

0001. X'mas

『Unknown』これが最終警告だ。人類はある脅威に脅かされている。状況はあまり……否かなりタチが悪い。特にこの約2年間は注意せよ。2035年12月～2037年1月。繰り返す、2035年12月～2037年1月。決して忘れるな。このメッセージは1週間後の2025年12月24日に自動消滅する。出所は調べても無駄だ、既に手筈^{てはず}はついている。以上だ。』

この文面は一部ネット上で凄まじい話題を呼んだ。内容も勿論だが、記述通りに物事が進んだ事がその原因である。2035年からの2年間については不明だが、このアンノンユーザーの出所は探索が不可能となっており、きっかり1週間後のクリスマスイブにメッセージは管理人の手を使わずして削除された。その後文献の搜索は続けられたが、完璧なる出所詳細の抹消^{抹消}により捜査は中断された。

?・?・?・?・?・?・?・?・?・?・?・?・?

2033.12.24. Sat 20..38..19

世はクリスマス一色というのに、自分は大学生ながらバイトに明け暮れている。レジの横で税込み105円の品をドライヤーみたいな機械にかざすのが僕のクリスマス。

僕が子供の頃と何も変わらない世界。急激な発展を手にした日本はその衰えが始まるのも急激的なものだった。20年前からこの日本は……日本だけじゃない、世界は止まってしまっている。テレポーターもタイムマシンも空飛ぶ車も猫型ロボットも、何一つこの世界には存在しない。進歩するのはネットの世界だけだ。2010年頃から注目されているソーシャルメディアサービス。世界の誰とでも話せたり遊べたりできるという美点を認められ、今も人類を一つの大きな家族にするため大きな注目と脚光を浴びている。

? 1・—? 1・—? 1・—? 1・—? 1・—? 1・—?

2033・12・25・Sun 2..46..28

日にちも変わり夜も深まった頃、バイトの時間は終了し先輩と別れ自宅へ向かう。

2033・12・25・Sun 3..07..11

自宅へ着いたのはバイトが終わりちょうど30分程度の時間だった。帰り際もらった店長の差し入れ（カップ麺）のビニールをピリと剥がし、お湯を沸かした。沸騰するまで時間があるのでネットを開く。寝る事が嫌いな人間というのは僕のような人なのだろうか。今日も特に愛用しているサイトを開き、友人を探る。

「だれかいるだろうか」

カチッ

『【アンドリユー】クリスマスイブはどうだったの（・□・？）』

『【@E】傷に塩をまぶすな』

『【アンドリユー】まぶしちゃうのかよ』

相変わらず馬鹿な会話だ。寒い外から帰ってきた僕にはぴったりな心温まる会話だ。

『【Alfred】さんがログインしました。』

『【Alfred】こん。湿気た会話してんな今日も』

『【@E】アルフ。最近見えないからどっか行っちゃったんじゃないかって』

『【Alfred】ああ、ここんどこシフトが入ってな』

ここで紹介しておこう。アンドリユーの本名は伊師神 いしがみ 紅樹 こうき。中学からの幼なじみだ。当時ネットの影響で気がおかしくなっていた僕を構成させてくれた唯一の恩人だ。

そして@Eはネット上で知り合った人物で、口が少々悪いが女だ。そして生粋のバカだ。

『【アンドリュー】よかった．．．。連絡くれよ』

『【Alfred】?? お前らしくないな。そんなに心配してくれるなんて』

『【アンドリュー】べ、べつに心配なんかしてないんだからねっ』

『【Alfred】いや可愛くねーよ。どこに萌えるんだよ。』

『【アンドリュー】というのは冗談で、本当に心配したよ。最近そこから“通り魔事件”起きてるから』

『【@E】バカッ、アンドリュー!!!』

『【アンドリュー】あ．．．．．す、すまん．．．』

『【Alfred】んああ、大丈夫だよ。こっちこそ心配かけて悪かったな．．．』

話は変わるが僕の母親は僕が小学生のとき、目の前で通り魔に殺されている。

? ー．．? ー．．? ー．．? ー．．? ー．．? ー．．? ー．．?

2025. 12. 17. Wed 20:50:00

僕はちよつと早いが、クリスマスプレゼントを母親と買いに来ていた。街中もまだ一週間前だというのにクリスマスモードがたちこめていた。カップルがあちこちに窺えたが、小学生の自分は興味もなかった。そのまま百貨店に向かうため歩き、交差点に差し掛かったところだった。【黒いアイツ】がやってきた。

【黒いアイツ】、あの無差別通り魔の事を僕はそう呼んでいる。向こうから走ってきたかと思えば、こちらに来るまでに刃物を女性2人、男性1人に刺し、僕の方めがけてやってきたのだ。もうダメだと思った瞬間、目の前に何かがかぶさった感覚があった。僕の、母だった。僕をかばい犠牲となったのだ。去年より早く降ってきた雪にはそぐわない真っ赤な血が滴り、母が倒れると同時に僕もヒザをついてしまった。声も出ず、涙腺もゆるまず、怒りも、悲しみも、全部がかき消された瞬間だった。【黒いアイツ】が流れるように逃

走用の車に乗り込み逃げていくのには目もくれず、目もよこさず、
その場で座り込んでいただけだった。

2025. 12. 17. Wed 21:00:00

母は目を閉じ、命を失った。そういえばちょうどネット上であの
人類危機のメッセージが書き込まれた時刻だ。

0002. 余興（前書き）

『でかこまれている会話はネット上のもの。
』でかこまれているのは通常の会話です。

0002. 余興

2033.
12.
25.
Sun
13..
20..
555

$$p_1 p_1 p_1 p_1 p_1 p_1 p_1 ! ! ! ! !$$

携帯の音だ。僕の友人たちが僕のサイト、ブログに書き込んでくると携帯が鳴るように設定されている。そのおかげでこのまま一日中寝てしまいうるだった自分を起こしてくれた。携帯を開く。特に重要なメッセージはなさそうだ。フライパンを出し、卵2個とベーコンを数枚をその上に広げ、焼いていく。大学生の一人暮らしとして自炊は当然である。まあ至って簡単なものばかりだが。

2033.
12.
25.
Sun
16..
49..
23

$$p_1 \quad p_1 \quad p_1 \quad p_1 \quad p_1 \quad p_1 \quad p_1 \quad ! \quad ! \quad ! \quad ! \quad ! \quad ! \quad !$$

またメッセーじが届いた。しかしその内容は友人からのものではなかった。

「【Unknown】君は、神谷かみたに 祀裏まつりで間違いないか」

「あ……アンノーンユーザーっ!!!!!!!!!!!!!!」

いやしかしどうせ成りすましだろう。アンノーンと名乗れば誰でもなりきることができるとのだから。紅樹の悪戯いたずらか？

【Alfred】さんがログインしました。

『【Alfred】なんだアンドリュー。冗談が下手になったんじゃないのか?』

$$p_1 p_1 p_1 p_1 p_1 p_1 p_1 ! ! ! ! ! !$$

「【Unknown】質問に答えろ。君は神谷 祀裏で間違いないか」

なんだ、しぶといな。今日は意地でもノってもらいたいらしい。

『**Alfred**』まだやるか。わかったよ。はいはい僕は神谷

祀裏で間違いありませんが何か？』

$$\begin{array}{c} p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \end{array} ! : ! : ! : ! : !$$

『【Unknown】8年前、君の母親は殺されているか聞きたい』

『【Alfred】おいおい、アンドリュウ。冗談にも限度つても
のがあるだろう!!』

$$\begin{matrix} p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ ! \\ ! \\ ! \\ ! \\ ! \end{matrix}$$

『【Unknown】質問に答えろ。8年前、君の母親は殺されて
いるか聞きたい』

「な、なんだよコイツ」

昨日はあんな素直に謝ったのに今日はどうしたんだ？まさか本当のアンノーンユーザーが……。

$$\begin{matrix} p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ p_1 \\ ! \\ ! \\ ! \\ ! \\ ! \\ ! \\ ! \end{matrix}$$

『【Unknown】早く答えろ、時間がない。君の母親は8年前の殺されているのか。』

「くっそ」

どうする、もし本当のアンノウンユーザーだったら。

$$\begin{array}{c} \frac{?}{?} \\ \frac{?}{?} \\ \frac{?}{?} \\ \frac{?}{?} \\ \frac{?}{?} \\ \frac{?}{?} \\ \frac{?}{?} \end{array}$$

8年前の通り魔事件は僕が来ていた表参道以外にも、青山、銀座、原宿、代々木、秋葉原でも起きており。それがほぼ同時タイミングで発生し、犯人の全員が未だに捕まっていないのも重要性を物語っている。そしてもう一つ。あの人類危機を伝えるメッセージである。これも通り魔事件と同時に発生しており、関連性を持っている事はほぼ間違いないだろう。

これらの事から通り魔事件はメッセーじ公布の余興だったといえる。これが現時点まででいえる【死のクリスマスイブ】の全貌だ。

2033.
12.
25.
Sun
17..
30..
31

『【Alfred】確かに殺された。表参道、某百貨店前の交差点の俺の目の前で通り魔に殺された』

このメッセージを送ってからというものの返事はなかった。アンドリユーや@Eにも確認したが二人ともアンnoonユーザーが送ってきた文面に見覚えはないらしい。やはりあのアンnoonユーザーは本物だったのだろうか。

2033. 12. 31. Sat 8..00..59

今年最後の朝はあまり目覚めがよくなかった。今日は紅樹ともう一人、幼稚園からの幼なじみの赤羽^{あかばね} 宮瑠美^{くるみ}に除夜の鐘を聞きに行こうと誘われていたのだ。しかし集合が午前11時とはこちらもやはりバカなのだろうか。ひとまず食パンを焼き、コーンスープの素にお湯を注ぐと僕は腹いっぱいになっていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6202z/>

ALFRED*Unknown

2011年12月21日15時50分発行